

2016年5月24日

洪水リスクレポート No.16-003

## スリランカで発生した大規模洪水・地すべり

### 1. 被害の概要

2016年5月、スリランカで、ここ25年で最大の被害となる洪水、地すべりが発生し、90名以上が死亡しました。

スリランカの Disaster Management Centre (DMC)によれば、この洪水および地すべりで、死者94名、けが人32名、行方不明者107名が発生し、避難者は120,000人以上、家屋の被害は4,500戸以上に上ると報告されています。最も大きな被害となった Aranayaka では、5月17日に発生した地すべりで、死者40名以上、行方不明者104名が生じています。また、財務責任者 Ravi Karunanayake によれば、経済的な被害は15億～20億ドル以上とされています。

浸水の状況は、21日以降、徐々に改善されてきていますが、UNOCHAは完全に水が引くまでには、あと数日を要すると予測しています。複数の地域では、未だ家屋の屋根の高さまで浸水しています。

UNOCHAによれば、最も影響を受けたのは、スリランカ国内でも洪水、地すべりに対して脆弱な農村です。多くの農村では、家、財産、農地など、生活のために必要な全てが失われています。

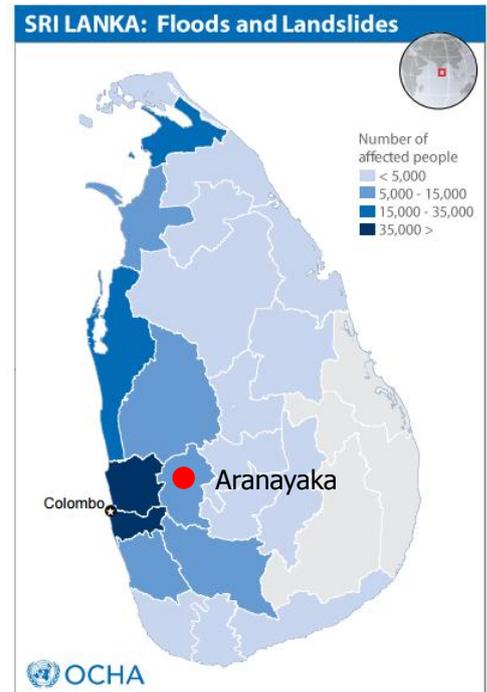
### 2. 大雨の原因

今回の大雨は、5月14日からスリランカ上空に停滞した低気圧によってもたらされ、日降水量350mm(13.77インチ)を超える激しい降雨が発生しました。この大雨により、スリランカ最大の都市コロンボを含む19の県で深刻な被害が生じています。WMOによれば、コロンボにおける4月の平均降水量は245.6mmですが、5月15日～16日にかけて、1日で256mmもの降雨がありました。

低気圧はその後も発達して台風 ROANU となり、西ベンガル湾の沿岸地域に激しい降雨による多くの被害や死傷者をもたらしました。台風は5月21日にバングラデシュへ上陸し、ミャンマー、インドにも深刻な被害をもたらしました。この台風による最大風速は102km/hにも達し、インドでは Mizoram 州と Manipur 州、ミャンマーでは Sagain 地区まで影響が出ています。

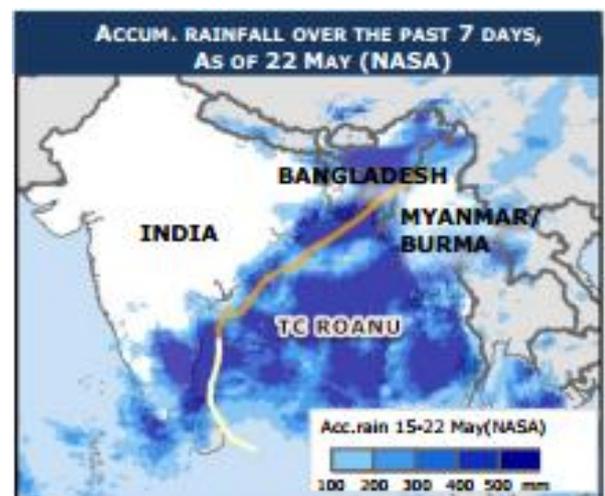
※DMC のホームページ（以下 URL 参照）では、台風の状況が毎日更新されています。

<http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/current-situation%20%283%29.pdf>



Map Sources: Disaster Management Center  
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply official endorsement or acceptance by the United Nations. Map created on 19 May 2016

Source: www.unocha.org

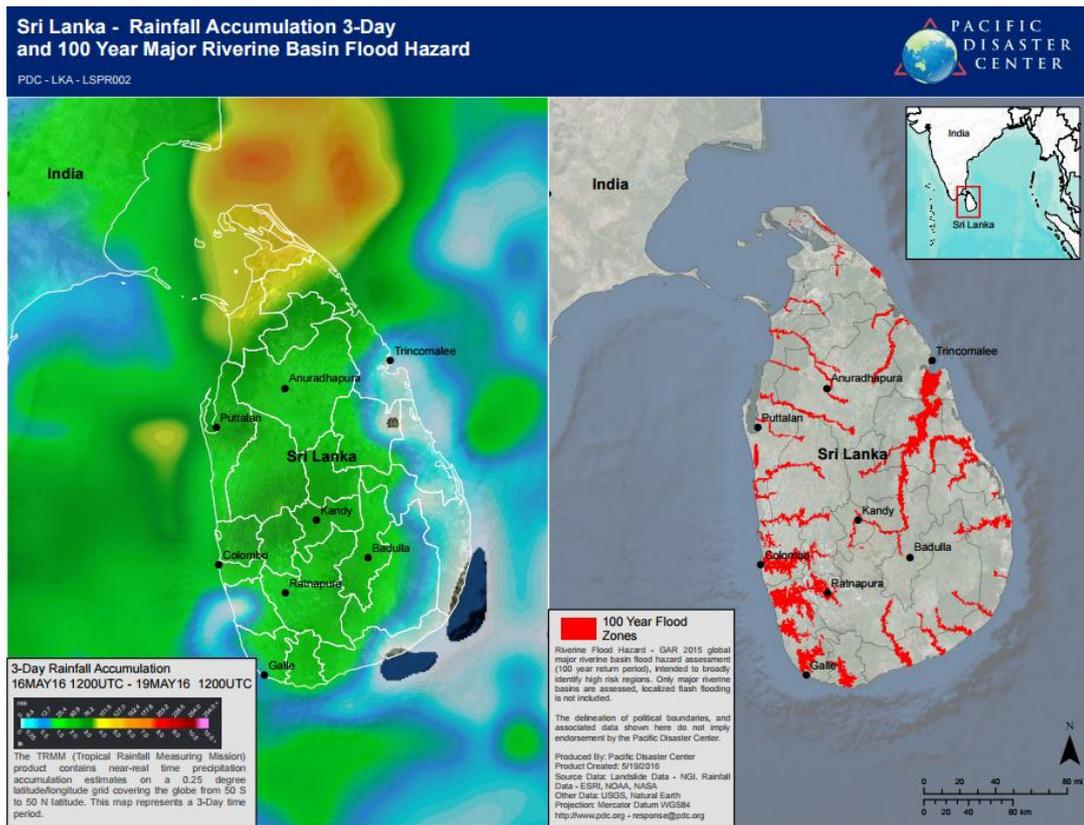


Source: http://reliefweb.int



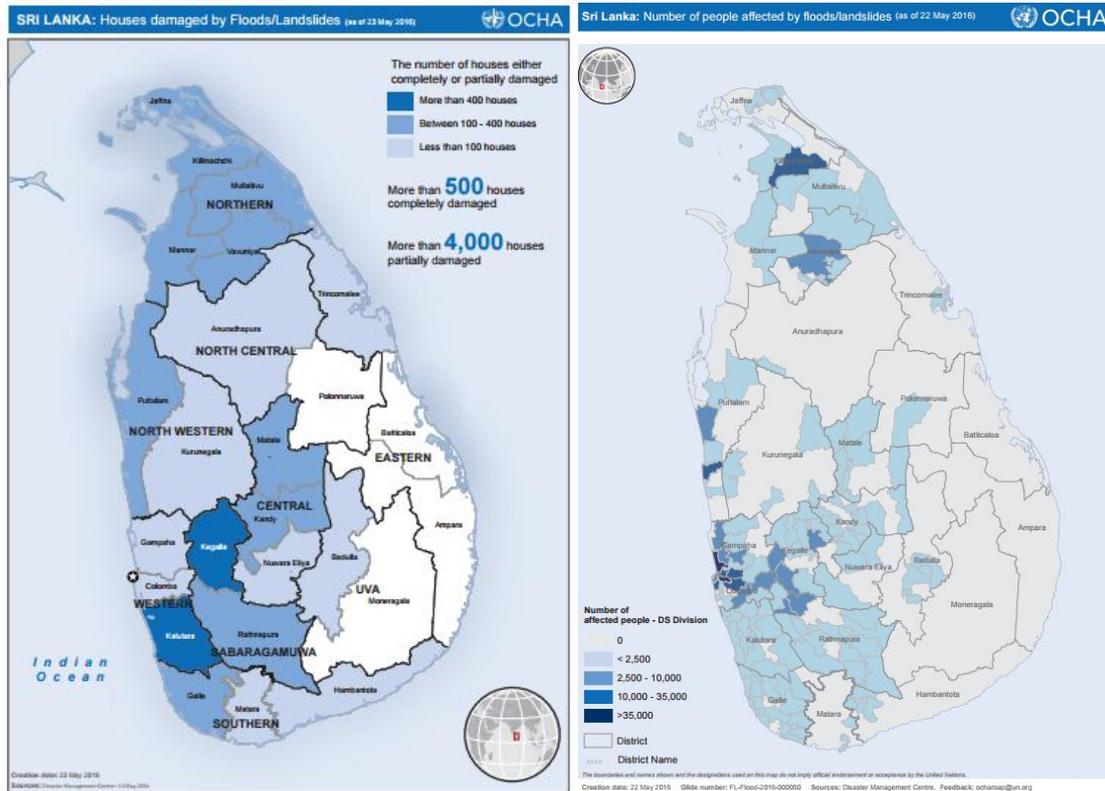
Source: Relief Web, Red Cross 2016 (<http://reliefweb.int>)  
\* Sri Lanka Red Cross Society の許可を得て掲載しています。

5月16日～19日の3日間降水量（左図）と再現期間100年の洪水ハザードマップ（右図）を以下に示します。



<http://www.pdc.org/>

家屋被害の分布図（左図）と人的被害の分布図（右図）は以下のとおりです。



## 参照

<http://floodlist.com/asia/sri-lanka-death-toll-may-2016-floods-landslides>

<http://floodlist.com/asia/sri-lanka-floods-facts-figures-may-2016>

<http://floodlist.com/asia/sri-lanka-floods-landslide-may-2016-aranayake-kegalle>

<http://reliefweb.int/disaster/fl-2016-000050-lka>

[http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/ECDM\\_20160523\\_TC\\_ROANU.pdf](http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/ECDM_20160523_TC_ROANU.pdf)

<http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/OCHA%20ROAP%20Flash%20Update%20No.1%20Floods%20and%20Landslides.pdf>

<http://reliefweb.int/map/sri-lanka/sri-lanka-rainfall-accumulation-3-day-and-100-year-major-riverine-basin-flood-hazard>

<http://www.unocha.org/aggregator/sources/27>

<http://www.abc.net.au/news/2016-05-21/sri-lanka-flood-evacuations/7434068>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 (株)インターリスク総研 総合企画部 国際業務チーム

TEL.03-5296-8920 <http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower 9th Floor. South Sathorn Road.

Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand

<http://www.interriskthai.co.th/>

Direct: +66-(0)-2679-5276

Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製 / Copyright 株式会社インターリスク総研 2016